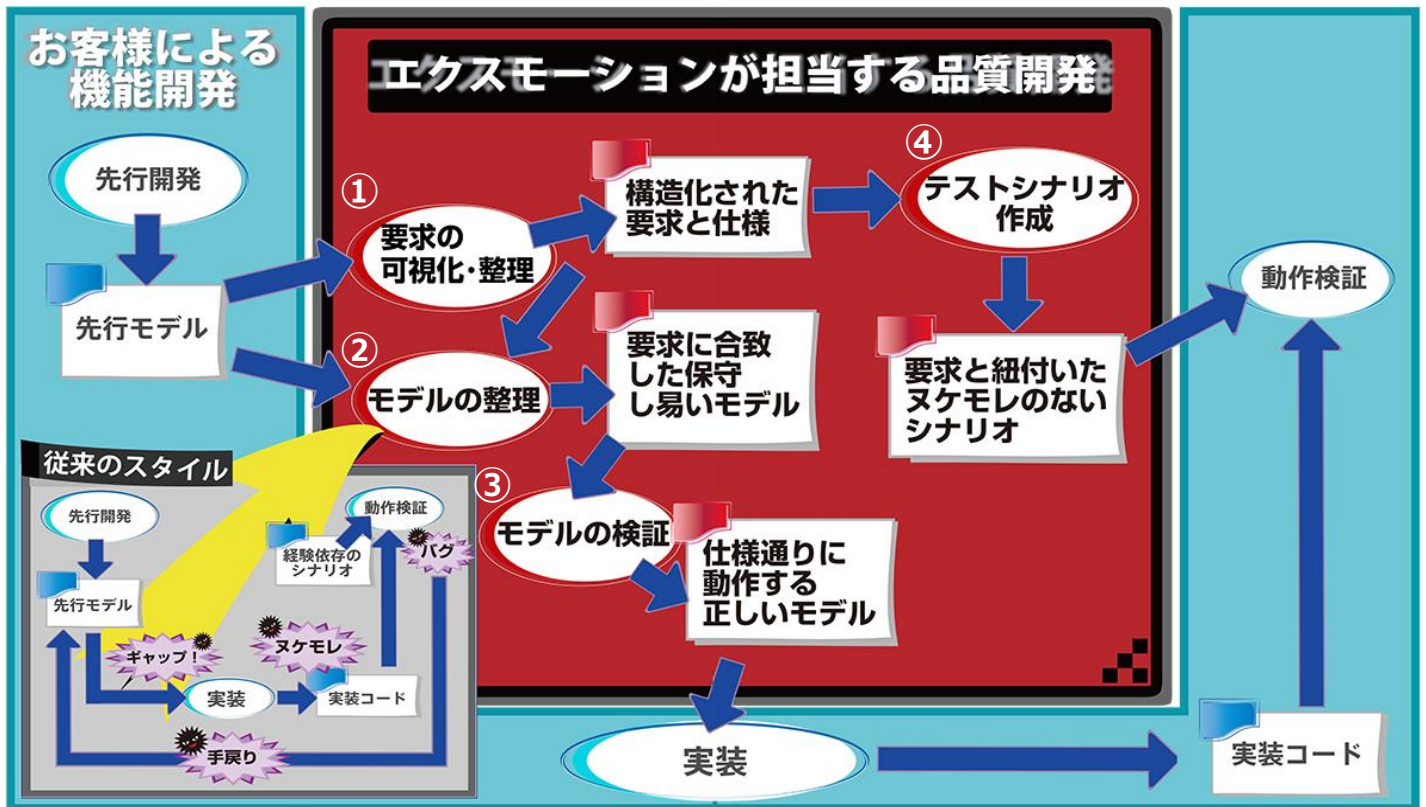


量産モデルの品質は エクスマーシオンに！



品質の確保はエクスマーシオンが引受けます

量産用の開発では「要求に合致した (= 妥当性のある)」「バグのない (= 動作検証済みの)」品質が担保されたモデルを開発しなくてはなりません。しかし、新たな機能開発で多忙な中、品質確保のために時間や労力を割くことは困難です。エクスマーシオンは、得意とする品質開発のための専門技術を使って、お客さまに代わりモデルの品質を確保します。



<p>① 要求の可視化・整理</p>	<p>先行開発では暗黙知になりがちな、製品に求められる要求を可視化し整理することで、モデルの妥当性を確認するためのベースを作ります。 さらに、要求の誤解釈やモレによる開発の手戻りも防止します。</p>
<p>② モデルの整理</p>	<p>先行モデルで記述された内容を、①で作成した要求と比較することで、モデル内容の妥当性、すなわち、そのモデルが要求をきちんと満たしているかどうかの確認を行います。 さらに、先行モデルを元に、品質改善を目的としたリファクタリング（設計改善）を実施し、保守が容易なモデルを作り上げます。</p>
<p>③ モデルの検証</p>	<p>整理した要求を元に作成したテスト仕様書を利用することで、モデルの妥当性確認を行います。 さらに、カバレッジ測定ツールなどと連携するシミュレーション検証の実施により、バグのない動作検証済みのモデルを提供します。</p>
<p>④ テストシナリオ作成</p>	<p>①で作成した要求を元に、実装コードの動作検証を行うためのテストシナリオを作成します。このシナリオを活用することで、要求と紐付いた、妥当性・網羅性が保証された動作検証を実施することが可能となります。</p>

■お問い合わせ



株式会社
エクスマーシオン

メール : info@exmotion.co.jp
電話 : 03-6722-5067
URL : <http://www.exmotion.co.jp/>

HILS活用支援

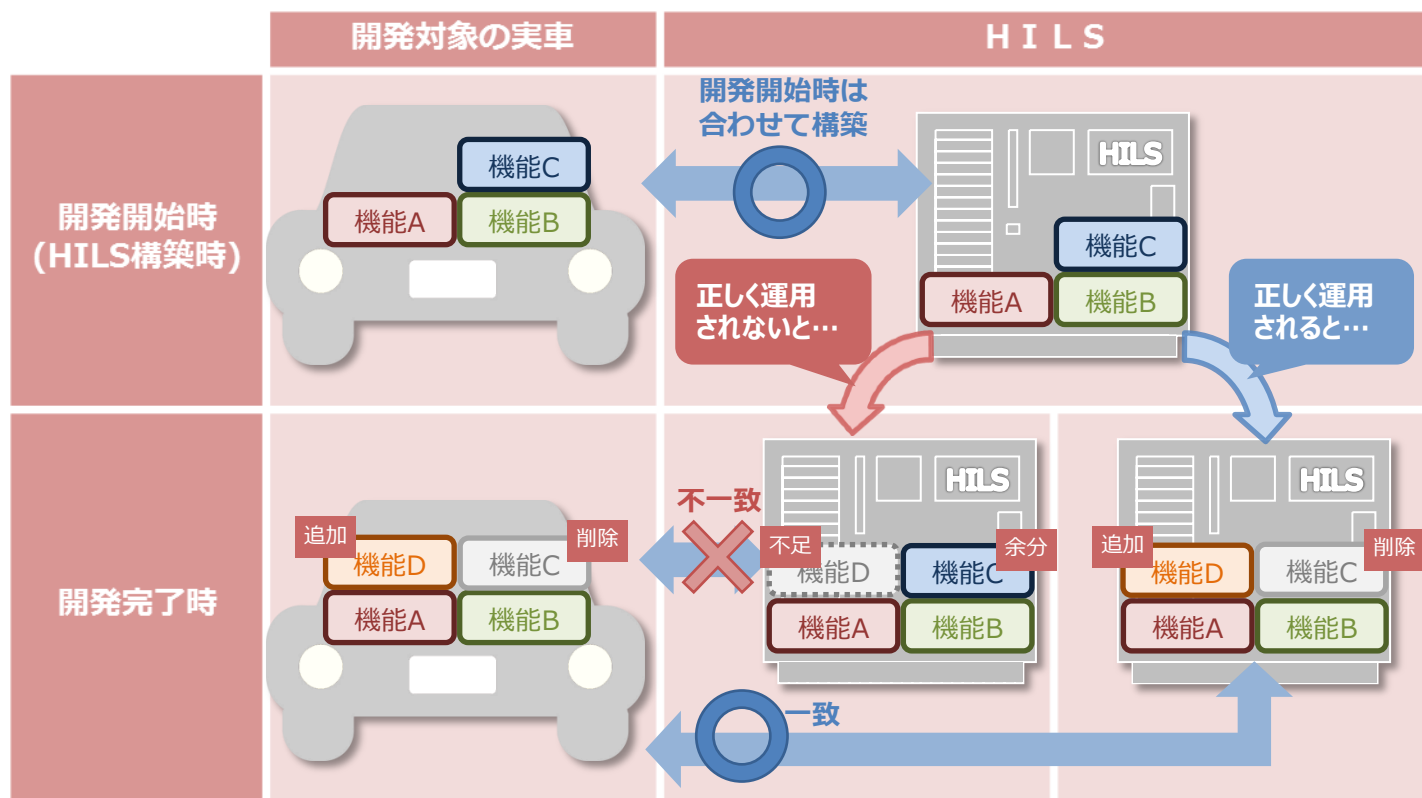


テスト環境構築と継続的運用支援

車載ソフトの量産開発において、開発規模の増大に伴う開発日程やリソース等の制約から、実車両で全てのテストを実施することが困難になっています。そこで、実車両の振る舞いをシミュレーションし、実車両の代わりにテストが可能なHILSを利用する機会が増加しています。HILSでは、任意のテストパターンを容易に、かつ、網羅的に実施できるというメリットがあります。また、自動テスト環境を構築することで、効率的にテストを実施することも可能です。しかし、多くの開発現場ではHILSが正しく運用されていないため、メリットを十分に生かすことができていません。

■HILSを効果的に活用するためには、HILS運用プロセスを構築して正しく運用

HILSを効果的に活用するには、製品開発プロジェクトの機能追加や削除の状況に合わせ、HILSも改修していく必要があります。そのためには、運用のためのプロセスをつくり、そのプロセスに沿った上で、リソースを割り当て、HILSの設計・改修を行います。このような体制を整えることにより、製品開発プロジェクトと歩調を合わせた「使える」HILSにすることが可能になります。



■エクスマーシオンが提供するサービス

HILS活用支援	運用プロセスや自動テストシステムの構築など、HILSを効果的かつ継続的に利用できる仕組みを考え、「使える」HILSの環境づくりをご支援を致します。
自動テスト環境構築	将来を見据えた拡張性の高い自動テスト環境の構築と、活用プロセスを定義します。
システムテスト設計	システム要件が正しく実現されているかどうかを検証するためのシステムテストを、要求仕様と品質特性に基づくテスト観点から設計します。

■お問い合わせ



株式会社
エクスマーシオン

メール：info@exmotion.co.jp
電話：03-6722-5067
URL：http://www.exmotion.co.jp/